

# 第一化成控股(開曼)股份有限公司

## 知的財産管理計画と2024実施状況

### 1、智慧財産管理策略

当社は、技術と製品の継続的な発展のために、高品質の特許出願の配置を最優先しています。コーポレートガバナンスコンプライアンスを実施するために、コーポレートガバナンス評価指数 2.27 の要件に従って、会社の運営戦略と一体化した知的財産管理計画を策定しました。知的財産管理システムの実施を通じて、顧客のニーズに合わせた製品の開発を行っています。潜在的な技術、生産およびビジネスプロセスにおける革新的な成果は、高品質の特許によって直ちに保護され、効果的に管理および使用されます。

### 2、知的財産管理方針

- (1) コーポレートガバナンス指標を実装する。
- (2) 知的財産の管理を強化し、知的財産管理システムを導入する。
- (3) 知的財産の配置を強化し、知的財産権を継続的に蓄積します。
- (4) 従業員の知的財産意識を高め、知的財産価値を創造します。

### 3、知的財産管理目標

- (1) 業務目標と連動した知的財産管理計画を策定し、TIPS 等の知的財産管理システムの検討・推進を行う。知的財産管理計画の実施状況については、定期的に取り締役に報告するとともに、公式ウェブサイトで公開する。
- (2) 知的財産管理を実施し、さまざまな知的財産管理基準を統合し、さまざまな知的財産関連の運用手順文書の関連性を明確に確立します。
- (3) 開発文書管理システムを強化し、開発記録を完全デジタル化します。
- (4) 社員の知的財産意識を高めるために、以下のような教育研修を実施しています。

1. 新入社員向け知的財産講座
2. 開発者向けの高度な知的財産コース
3. 知的財産専門家のための高度研修コース

### 4、知的財産管理対策

#### (1) 特許

特許管理には、特許出願、記録管理、特許保護評価などの関連規制が含まれており、特許レイアウトを通じて全体的な特許力をさらに高め、競争力を強化します。同時に、開発成果を公開する前の審査の仕組みを標準化することで、企業の研究開発成果を保護し、機密情報漏洩のリスクを回避することにつながります。

#### (2) 機密情報管理

関連する教育と研修を実施して従業員の知的財産概念を強化し、機密情報管

理に関する関連規制を継続的に遵守し、機密情報や重要な技術漏洩のリスクを効果的に低減し、会社の重要な機密情報を保護します。

## 5、2025 年間の実施と知的財産管理の結果

### (1) 年次実施

当社の知的財産管理の実施状況は、2025 年 1 月 14 日に取締役会に報告されました。今年度の主なタスクは次のとおりです。

1. 「知的財産管理計画」を策定する。
2. 知的財産管理および制御プロセスを実施し、さまざまな知的財産管理基準を統合し、さまざまな知的財産関連の運用手順文書の関連性を明確に確立して、管理の抜け穴を回避します。
3. 開発記録の完全な電子化について議論し、研究開発プロセスの管理と保護を強化し、製品開発部門に現在の業界の状況と技術開発の動向を提供します。

### (2) 知的財産管理の実績

2025 年度までに、日本子会社は特許を 13 件取得し、中国子会社は特許を 22 件取得（2024 年比 6 件増）、合計 35 件となった。直近 5 年間に開発に成功した技術または製品を列挙する：

年度	主な研究開発成果
2021	自動車メーカー向け電子ブレーキ用基幹部品の開発完了
	1 車種分の自動車用電子システム基幹部品の開発完了
	1 車種の自動車電装系基幹部品の開発完了
	1 車種の自動車用基幹部品の開発完了
	ビデトイレ用自動蓋開閉モジュール 2 種の設計開発完了
	ビデノズルモジュールの評価、設計、開発を完了
2022	1 車種の自動車電装系基幹部品の開発完了
	二輪車シリーズの電装系主要部品の開発完了
	ビデ自動蓋上げモジュールの設計開発を完了
	ビデ水バルブモジュールの設計開発を完了
	ビデ洗浄モジュールの設計開発を完了
	「差込式シールプラグを備えた自動車部品成形金型」の特許を取

年度	主な研究開発成果
	<p>得</p> <p>「2つのローディングステーションを備えた自動ねじ締め機構」の特許を取得</p> <p>「車両用ヒューズボックス底部シェル成形金型」特許取得</p> <p>「二段押圧ストローク自動車部品組立機構」特許取得</p> <p>「プレスストローク自動車部品組立機構」特許取得</p> <p>「車両カバー製造金型の製品排出装置」特許取得</p> <p>「自動車用ワークの自動組立機構」特許取得</p> <p>「誘導制限機能付き金型」特許取得</p> <p>「自動車用ハードウェアワークのデュアルステーション自動組立機構」特許取得</p> <p>「ハードウェア組込み成形自動生産ライン」特許取得</p> <p>「コア抜き安定型車載 ECU ボックス成形金型」特許取得</p>
2023	<p>自動車用ワイヤー制御ギアシフトモジュール2種の主要部品の開発完了</p> <p>自動車パーキングブレーキシステム用ギア部品の開発完了</p> <p>自動車ドアシステム2機種 of 基幹部品開発完了</p> <p>自動車ドアロックシステム2種のキーパーツ開発完了</p> <p>3車種の自動車電装系基幹部品の開発完了</p> <p>ビデ便座アクチュエータモジュールの設計開発を完了</p> <p>ビデ自動蓋上げモジュールの設計開発を完了</p>
2024	<p>スマート家電スイッチモジュール3つの設計を完了</p> <p>便座補助モジュールの設計完了</p>
2025	<p>自動車メーカー向け自動車アクチュエータモジュールの重要部品1種の開発を完了</p> <p>1車種の自動車電子システムにおける重要部品の開発を完了</p>

年度	主な研究開発成果
	1 車種の自動車用リアクトルモジュールの主要部品の開発を完了
	1 種類の洗浄便座自動蓋開閉ユニットの設計を完了する
	1 台のウォッシュレット用洗浄モジュールの設計を完了した

## 6、知的財産の優位性と事業運営への貢献

(1) 投資家の信頼を高めるために、コーポレートガバナンスのコンプライアンスと知的財産管理を実施します。

コーポレートガバナンス規制へのコンプライアンスを継続的に実施することで、コーポレートガバナンスが向上し、顧客や投資家が企業の知的財産価値や競争上の優位性を理解できるようになります。

(2) 社員の知的財産意識を強化し、知的財産価値を創造する

知的財産管理を標準化することで、知的財産の企画、取得、維持といった管理プロセスを改善し、知的財産の品質向上と管理の向上に貢献します。

(3) 開発成果の保護と機密管理の強化のため、既存の知的財産管理プロセスを継続的に改善する

知的財産管理の文書化および標準化された管理を実施し、スマート資産の計画、取得、保守などの管理プロセスを改善し、部門間のコミュニケーションと協力を促進することで、スマート資産の品質と管理を改善し、企業の持続的な発展を可能にします。

## 7、知的財産管理の展望

IKKAは「顧客満足のサービス提供」を基本理念に、50年以上の金型開発技術を蓄積し、高品質な製品とサービスを提供し続けており、自動車分野における同社の活力と競争力を発揮しています。

知的財産は企業が持続的な収益性を達成するための重要な能力です。当社は引き続き企業の事業戦略に協力し、知的財産管理システムを強化し、企業が知的財産を活用して業務効率を向上できるようにします。今後もIKKAは、強固な知的財産管理を基盤として、継続的なブレークスルーと飛躍的イノベーションを追求し、企業の持続的な価値を発揮していきます。